

震災復興計画

新しい熊本市の
実現に向けて

熊本市震災復興計画は、市民・地域・行政が自然災害の脅威についての認識を共有し、総力をあげて早期の復旧を目指し、新しい熊本市の実現に向けて着実に歩みを進めていくための基本的な考え方を示すとともに、取り組むべき主要な施策や具体的な取組を体系的にまとめたものです。

私たちは、熊本地震に伴う様々な経験を通じて、改めて地域が持つ力・市民一人ひとりが持つ力の大きさと重要性を実感しました。この「地域主義」をまちづくりの基本理念として、ためざまちの姿「上質な生活都市」の実現は、震災後の本市においても変わることのない目標です。

計画概要

- 1 対象地域：現行（平成28年4月1日現在）の市域を基本とし、必要に応じて広域的な対応を図ります。
- 2 位置付け：総合計画の前期基本計画の中核として位置付けています。
- 3 計画期間：平成28年度～平成31年度（復興には平成32年度以降も取り組みます。）
- 4 計画の構成：「基本方針」と5つの「復興重点プロジェクト」、5つの「目標別施策」等で構成しています。

基本方針

市民力・地域力・行政力を結集し、
安全・安心な熊本の再生と創造

- 1 避難から復旧、そして、74万市民が総力をあげ明日を見据えた復興へ
- 2 「安全・安心」と「元気・活力」、そして「地域経済」の回復に向けた効果的かつ迅速な市政展開
- 3 市民・地域と行政が協働で支える安全・安心で「上質な生活都市」の創造

平成28年4月14日及び16日に発生した平成28年熊本地震からの早期の復旧・復興を目指し、市民の皆さんとの協働によって平成28年10月に策定しました。



目標別施策

- 1 被災者の生活再建に向けたトータルケアの推進
(1)被災者の暮らしの安心や生活再建を支える取組の推進
(2)恒久的な住まいの確保支援
- 2 「おたがいさま」で支え合う協働によるまちづくり
(1)互いに支え合う自主自立のまちづくりの推進
(2)復興を支える担い手の育成
(3)市民・地域と行政のパートナーシップの推進
- 3 防災・減災のまちづくり
(1)災害に強い都市基盤の形成
(2)市民・地域・行政の災害対応力の強化
(3)避難環境の見直し・強化
- 4 「くまもとの元気・活力」を創り出す
(1)地域産業への多様な支援と復興需要による地域経済の再生と活性化
(2)農水産業関連施設の早期復旧と営農再開に向けた支援による農水産業の復興
(3)震災からの再生をアピールし集客を図る国内外へのシティセールスと観光戦略の展開
- 5 都市圏全体の復興をけん引する取組の推進
(1)連携強化と近隣自治体への支援
(2)都市圏全体の復興実現

復興計画の推進に向けて

市民・地域と
行政の
協働による推進

復興を円滑に
進めるための
行財政基盤の確立

実施計画による
復旧・復興事業の
着実な推進

復興重点プロジェクト

復興重点プロジェクトとは？

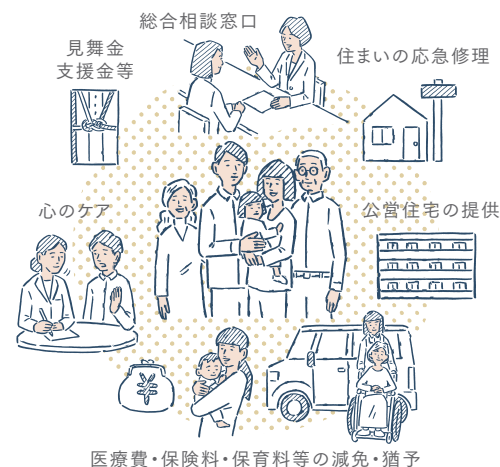
復興重点プロジェクトは、目標別施策の中で、特に緊急かつ重要なもので、本市の復興をけん引する重点的な施策を掲げています。

一人ひとりの暮らしを支えるプロジェクト

被災者が一日も早く安心して自立的な暮らしを取り戻すことができるよう、現状把握に努め、住まいの確保支援や心のケア等、生活再建に向けた総合的な自立支援に取り組めます。

主な取組

- 各区へのワンストップの総合相談窓口の設置
- 各種支援金や貸付制度等の経済的支援
- 関係機関と連携した就労支援
- 被災住宅の応急修理
- 液状化などによる宅地被害の復旧支援
- 災害公営住宅の提供
- スクールカウンセラー配置など相談支援体制の強化
- 応急仮設住宅入居者等に対する見守りや生活・健康相談

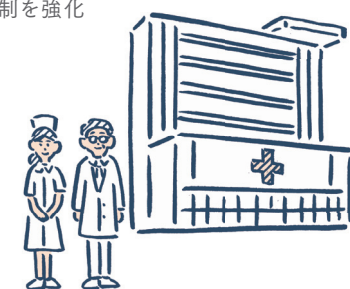


市民の命を守る「熊本市民病院」再生プロジェクト

地域医療の中核的な総合病院として、総合周産期母子医療などの政策医療を担ってきた責任と役割の重大さを踏まえ、市民の生命と将来を担う子どもたちの命を守るため、一日も早い再生に取り組めます。

主な取組

- 総合周産期母子医療を充実し、二次救急医療体制を強化
- 地域医療構想を踏まえた医療体制の構築
- 感染症などに対応する政策医療の提供
- 適切な診療体制の構築



くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト



国や県等の関係機関との連携のもと、市民・県民をはじめ関係団体などの力を結集し、中長期的な視点を持って復旧に取り組めます。また、復旧していく熊本城を国内外へ向けた新たな観光資源として活用しながら、熊本のしごと・ひと・まちを元気にしていきます。

主な取組

- 復興のシンボルである天守閣の早期復旧
- 石垣や重要文化財建造物等の文化財的価値を損なわない丁寧な復旧
- 天守閣エリアの早期公開と復旧過程の段階的公開
- 復旧後の耐震化など安全対策に向けて最新技術も取り入れた復旧手法の検討



新たな熊本の経済成長をけん引するプロジェクト

中小企業や農業者等を支援し、産業界全体の振興を図っていくことで、本市を含む都市圏全体の経済の再生・成長をけん引します。また、高度な都市機能が集積する中心市街地においては、防災機能の向上を図りつつ、桜町・花畑周辺地区や陸の玄関口である熊本駅周辺地区の再整備を進めることで、更なるまちのにぎわいを創出します。

主な取組

- 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の活用等支援
- 担い手への農地集積や農業用共同利用施設の再編整備
- 「日本一のみかん産地」を目指した園地整備等
- 産学連携を推進した新技術開発や販路拡大等支援
- (仮称)熊本城ホールを含む桜町地区市街地再開発事業
- シンボルプロムナード及び(仮称)花畑広場の整備等
- 熊本駅周辺整備事業
- 公共交通等による桜町・花畑周辺地区と熊本駅周辺地区の回遊性向上

震災の記憶を次世代へつなぐプロジェクト



今回の震災によって得た多くの教訓と復旧・復興の過程を市内外において共有し、将来同様な災害が発生した場合の対応に役立てるため、震災に関わる記録を集積・発信するとともに、様々な取組を通じて「熊本地震の記憶」を熊本の未来を担う子どもたちへ伝承していきます。

主な取組

- 震災による被害の状況や地震のメカニズムの研究、復旧・復興へのプロセスを記録・保存し、幅広い取組に活用
- 震災での体験や教訓等をいかした防災教育の推進
- 復興情報を発信する拠点の整備について、県と歩調を合わせた検討
- 震災の経験を伝える語り部講話の開催など、「熊本地震の記憶」が永く後世に語り継がれていくための取組の推進